

MAP研修体系

宮城県教育委員会

◆みやぎアドベンチャープログラム（MAP）とは

- MAPは、課題解決型体験学習法の理論を取り入れた宮城県独自の教育手法です。この手法をさまざまな教育活動に導入することで、児童生徒がお互いに安心して学習できる環境を整え、児童生徒の主体的な学びを促進し、困難にチャレンジする気持ちや思いやりの心を育むとともに、学校不適応等の未然防止を図ることを目的としています。
- MAPの講習会に参加した先生方の多くが、児童生徒の目線に立つことや、わかりやすい声かけをすること、児童生徒が意見を表現しやすい環境をつくること、意見を発表するまで待つ姿勢などを自然に意識するようになったと答えています。MAPでは、教員は一方的に教え、指導するのではなく、児童生徒に気付きを促すよう働きかける支援者（ファシリテーター）の役割を担います。児童生徒を支援し、関わっていく中で、お互いに安心して学習できる環境を自然に整えていきます。支援者としての力量を高めるために、児童生徒を観る確かな目と、耳と、心を身に付けるのが講習会の目的です。

◆研修体系

※【 】は研修会の担当課を示しています。

- <一般研修> **MAP体験会（1日）** ※ 年2回実施 【生涯学習課】

実際の活動を通して、PAの組み立てや理論などの基本的なことについて学びます。

- <指導者養成研修>

MAP講習Ⅰ（宿泊研修） 【生涯学習課】

Step1 一人ひとりが安心できる学びの環境づくり

様々な活動を体験し、グループとしての成長を実際に体験することで、人間関係の築き方や人との関わりについて学ぶとともに、現場で活用できるアクティビティや理論を習得し、授業などの教育活動への導入について考えていきます。

修了者は、各所属でのMAP活動の中心として、授業や企画事業に導入するなどの展開を図ってみてください。また、所属でのMAPについての疑問や相談にも乗ってください。

MAP講習Ⅱ（宿泊研修） 【義務教育課】 ※ MAP講習Ⅰ修了者対象

Step2 学びの環境をつくる支援の実際

実際の計画立案から参加者同士の指導、フィードバック演習までを行い、支援者としての力量を身に付けます。

お互いに指導し合い、力量を身につける講習会です。修了者は、指導者として学校や地域の中心的立場で、活動を展開していきます。受講者同士の連携を深めながら、MAPについての理解を深めるとともに、よりよい教育活動のあり方についても考えてみてください。

MAP講習Ⅲ（宿泊研修） 【高校教育課】

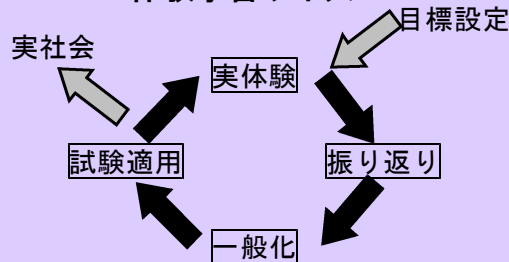
※ MAP講習Ⅱ修了者対象

Step3 <実践> 県内指導者の養成

参加者同士でグループを成長させるための支援を行い、支援者としての力量を向上させるとともに、授業など指導事例の情報交換や研究協議を通して、より効果的なMAPの導入について検討します。

県内指導者として各種研修会の講師として活躍できる技術を身につけます。授業への効果的な導入についても研究協議等を行い、スキルの向上を図ります。

体験学習サイクル



心の復興支援プログラム推進事業

宮城県教育委員会

※ 赤字の内容が、MAP県内指導者の先生方に関わるものです。

1 本事業の目的

児童生徒の東日本大震災によるストレスや困難等をともに乗り越えるために、復興に向けて心をひとつにした集団づくりを目指すとともに、一人ひとりが心の復興を図ることができるよう、みやぎアドベンチャープログラム（MAP）の手法を取り入れた集団活動等の実施を推進しています。

2 事業内容

(1) 県内指導者派遣事業

各学校等の要望に応じて、MAP県内指導者を半日または1日単位で派遣し、児童生徒の心の復興や望ましい人間関係の構築のためにMAPの手法を取り入れた活動を実践します。

(2) 推進実践校指定事業

① 実践校 県立高等学校2校

② 実践内容

(ア) 生徒を対象としたMAP実践を積極的に導入し、必要に応じて県内指導者を派遣します。また、教員を対象とした校内研修会も開催します。

(イ) 生徒を対象にQ-U（学級アセスメント）を年2回実施し、プログラムの実践による変化を測定します。

(ウ) 実践成果等を県内指導者研修会で発表するとともに、学校HP上等で公開します。

(3) 県内指導者研修会

① 対象 MAP県内指導者（MAP講習Ⅲ修了者及びPAJ主催研修受講者）

② 研修内容

指導者間で各所属におけるMAP実践に係る取組事例などの情報共有を行うとともに、ワークショップや実践研修を行い指導力の向上を図ります。

③ 実施回数 2回程度 ※ うち1回は(5)と兼ねています。

(4) 心の復興支援研修会

① 対象 県内公立学校の教職員50名程度。

② 研修内容

アドベンチャーの手法を用いた集団形成の理論や技術を身に付けるとともに、心の復興をテーマにワークショップや実践研修を行います。

③ 実施回数 1回

(5) 緊急時対応事例研修会

① 対象 県内公立学校の教職員（20名程度）及びMAP県内指導者（定員なし）。

② 研修内容

危機や困難に遭遇した時、児童生徒が心と身体の安全を図りながら力を合わせて乗り越えていくための力を育むための手法等について、ワークショップや実践研修を行います。

③ 実施回数 1回 ※ (3)と兼ねています。